

大人の皆様へ

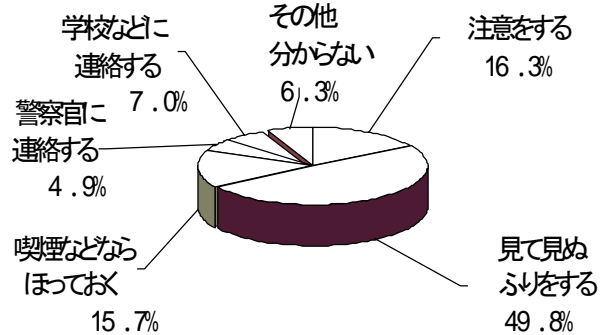
親と大人が子どもにもっと責任を持とう！

「見て見ぬふりをする」大人は、2人に1人

「注意をする」大人は、6人に1人

大人の一人一人が、子どもを「社会の子」としてとらえ、大人は、愛情と勇気をもって次のことをしよう。

不良行為をしている少年への対応



少年非行問題に関する世論調査（平成14年2月内閣府発表）

社会のルールをきちんと教えよう。

子どもたちに対し、悪いことは悪いとはっきり言い、善悪を正しく判断して行動する態度を教え、社会の一員として責任ある行動をとらせることが大切です。

他人とのかかわり方を学ばせよう。

集団や自然の中での体験・経験を積み重ねることにより、人間関係の築き方や、我慢すること、感動することなどを学ばせる必要があります。

先頃、男子高校生が女子高校生を殺害し、逮捕されるという、起きてはならない事件が発生しました。

こうした事態をうけて、生徒が自他の生命を尊重し、善悪の判断などのモラルや道徳心を身に付けることを願って「高校生の心の教育充実週間」を設けました。

学校、家庭、地域が一体となって、子どもたちの健全育成に取り組み、子どもたちへのかかわり方について考えていきましょう。

高校生の心の教育充実週間

平成14年4月15日～19日

茨城県・茨城県教育委員会・茨城県高等学校PTA連合会